

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.5</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.38</b>					<b>3.8</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.8</b>	0.15	<b>3.7</b>	1.00			<b>3.8</b>
<b>1.1 騒音</b>		<b>3.0</b>	0.46	<b>3.5</b>	0.50			
1 室内騒音レベル	住居部分 35<騒音レベル 40	3.0	1.00	4.0	0.50			
2 設備騒音対策		-	-	3.0	0.50			
<b>1.2 遮音</b>		<b>4.9</b>	0.46	<b>3.9</b>	0.50			
1 開口部遮音性能	T-2とする	5.0	0.90	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能	住宅はTLD-55、建物全体ではTLD-44を確保	4.0	0.10	4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
<b>1.3 吸音</b>		<b>3.0</b>	0.07	-	-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.1</b>	0.35	<b>5.0</b>	1.00			<b>3.9</b>
<b>2.1 室温制御</b>		<b>3.2</b>	0.50	<b>5.0</b>	1.00			
1 室温		3.0	0.55	-	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能	住宅は省エネ等級4を確保	3.0	0.32	5.0	1.00			
4 ゾーン別制御性	細かで選択自由な空調ゾーニング	5.0	0.12	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
<b>2.2 湿度制御</b>		<b>3.0</b>	0.20	-	-			
<b>2.3 空調方式</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.0</b>	0.24	<b>3.0</b>	1.00			<b>3.0</b>
<b>3.1 昼光利用</b>		<b>3.0</b>	0.32	<b>3.0</b>	0.50			
1 昼光率		3.0	0.53	3.0	0.51			
2 方位別開口		-	-	3.0	0.27			
3 昼光利用設備		3.0	0.47	3.0	0.22			
<b>3.2 グレア対策</b>		<b>3.0</b>	0.26	<b>3.0</b>	0.50			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
<b>3.3 照度</b>		<b>3.0</b>	0.13	-	-			
<b>3.4 照明制御</b>		<b>3.0</b>	0.28	-	-			
<b>4 空気環境</b>		<b>4.3</b>	0.25	<b>4.5</b>	1.00			<b>4.4</b>
<b>4.1 発生源対策</b>		<b>5.0</b>	0.56	<b>5.0</b>	0.63			
1 化学汚染物質	で、VOC放出量の少ない建材を全面的に使用	5.0	1.00	5.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
<b>4.2 換気</b>		<b>3.5</b>	0.36	<b>3.6</b>	0.38			
1 換気量		3.0	0.48	3.0	0.33			
2 自然換気性能		-	0.05	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮	概ね給排気を6m以上離す計画としている	4.4	0.48	5.0	0.33			
4 給気計画		-	-	-	-			
<b>4.3 運用管理</b>		<b>3.1</b>	0.07	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.42	-	-			
2 喫煙の制御	物販は分煙、病院は禁煙	3.3	0.58	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-			<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.1</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00			<b>3.4</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		<b>3.0</b>	0.40	<b>4.0</b>	0.60			
1 広さ・収納性		-	-	-	-			
2 高度情報通信設備対応	ブロードバンド回線が利用可能	-	-	4.0	1.00			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
<b>1.2 心理性・快適性</b>		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.5</b>	0.40			
1 広さ感・景観	住宅天井高2.5m	3.0	0.09	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	0.09	-	-			
3 内装計画		3.0	0.82	3.0	0.50			
<b>1.3 維持管理</b>		<b>3.3</b>	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保	清掃やメンテナンスに配慮した設計としている	3.7	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.3</b>	0.31	-	-			<b>3.3</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>		<b>3.2</b>	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能	制振ダンパーを採用	4.0	0.20	-	-			
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		<b>3.2</b>	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級2	4.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性			4.2	0.19	-	-	
1	空調・換気設備	災害時の重要度別運転、負荷のコントロールが可能	4.9	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水型器具の採用、災害時の対応に配慮	4.2	0.20	-	-	
3	電気設備	非常用発電機を設置、電気室への浸水対策	4.9	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	通信手段の多様化、浸水対策	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.1	0.29	3.6	1.00	3.3
3.1 空間のゆとり			4.0	0.11	4.2	0.50	
1	階高のゆとり	住宅3.25m、物販店舗・診療所部分5.0m～6.0m	5.0	0.55	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.45	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.11	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.77	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.32	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		相模原市景観条例に基づく配慮	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	広場、緊急時避難スペースの提供、組合とのフリースタイル開催	5.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.0
1 建物の熱負荷抑制		住宅は省エネ等級4を確保。その他は断熱性能を向上させPAL値低	4.4	0.32	-	-	4.4
2 自然エネルギー利用			3.0	0.21	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		ERR 15%、電気ヒートポンプ式給湯器を採用	4.7	0.38	-	-	4.7
		集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)	4.9		-	-	
		集合住宅の評価	4.7		-	-	
4 効率的運用			3.0	0.09	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	節水コマ、省水型機器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.88	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.12	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.63	-	-	3.2
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.21	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.21	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	住宅はスケルトンインフィル。その他の部分も設備更新容易な計画	4.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22	-	-	3.2
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.3	0.68	-	-	
1	消火剤	不活性ガス消火剤を採用	4.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率に基づくスコア換算3.9	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.9	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	予備の雨水貯留槽を設けている	4.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	十分な駐車駐輪台数の確保、出入口位置に配慮	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	住宅、物販店舗等それぞれにごみ置場を計画	3.8	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2	風害、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		2.8	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		2.8	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	